

スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール事業(SPH) 服飾デザイン科 テキスタイル開発に関する研修

【日 時】2月23日(木)

【目 的】・世界有数の高級毛織産地である「尾州」の魅力について、各種展示や試作品から学ぶ。

- ・東海地区の繊維関係の企業(53社)の素材について各社の特徴を生かした機能性、意匠性富んだ素材を見学し、今後の作品製作にいかす。
- ・学生アイデアを取り入れた素材提案のコンテスト(翔工房)を見学し、今後のテキスタイルデザインの発想力を養う。

【研修先】葛利毛織株式会社 第14回ジャパン・ヤーン・フェア&総合展「THE 尾州」

【対 象】服飾デザイン科 2年生 36人

研修の様子と成果

葛利毛織株式会社見学

ウールを中心に風合いにこだわりをもち、伝統の低速ションヘル織機を使用している made in Japan ブランドの製作工程の見学をしました。職人の手で丁寧に一つ一つウールの風合いを大切にした上質な織物を手で触れることができました。



第14回ジャパン・ヤーン・フェア&総合展「THE 尾州」見学

翔工房の学生と職人とがコラボレーションして、製作した生地と作品がプレゼンテーションされたファッションショーを見学しました。独特な配色や素材の魅力が十分に表現されていました。



【生徒の感想】葛利毛織で織られる生地は、商品企画力と匠の力が合わさり、伝統ある尾州の毛織物が受け継がれ、その商品価値が世界のデザイナーから高く評価されている。有名ブランドの布地に起用され、さらにより良いものを作りたいという気持ちや熱意につながるという、ものつくりの原点を感じました。

翔工房のファッションショーでは、イメージをテキスタイルに織り込んでいく力、仕上がったテキスタイルをいかして、衣服にするという学生の柔軟な発想力を見て、こだわりのある作品を見るたびにワクワクしました。SPH 事業におけるテキスタイル開発がとても楽しみになり、商品開発への意欲が湧きました。